

令和4年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	4. 4. 27	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4名	・令和3年度事業報告(案)及び収支決算 (案)について
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 内、オンライン2名 監事 4名	・令和3年度事業報告(案)及び収支決算 (案)について ・第19回定時社員総会提出議案について (案) ・役員を選任について(案)
理 事 会	4. 5. 25	東京都目黒区 「ホテル 雅叙園東京」	理事 14名 監事 4名	・厚生労働省登録検査機関における業務 責任者の変更について ・委員会委員の委嘱について
第19回定時 社員総会	同 上	同 上	71名 (委任状による 出席41名を含む)	①令和3年度事業報告の件 ②令和3年度決算報告書承認の件 ③令和4年度事業計画報告の件 ④令和4年度収支予算報告の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥令和4年度会費及び徴収方法決定の件 ⑦令和4年度加入金決定の件 ⑧令和4年度借入金最高限度決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑩理事及び監事の任期満了に伴う役員 改選の件
役付役員互選 理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 4名	・役付役員の互選について
理 事 会	4. 9. 28	東京都港区 「TKP品川 カンファレン スセンター ANNEX」	理事 13名 内、オンライン2名 監事 4名	・社員の加入について
理 事 会	5. 1. 25	東京都目黒区 「ホテル 雅叙園東京」	理事 16名 監事 2名	・社員の加入について
理 事 会	5. 3. 29	ハム・ソーセージ 会 館	理事 13名 監事 3名	・令和5年度事業計画(案)及び収支予算 (案)について ・社員の加入について

J A S 認 証 業 務 評 価 委 員 会	5.3.23	ハム・ソーセージ 会 館	委員 4名	・本研究所の審査、認証及び意思決定プロセスの公平性について ・公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・厚生労働省登録検査機関に係る業務の信頼性確保について
ISO/IEC17025 認定試験所検査 業務評価委員会	同 上	同 上	同 上	・ISO/IEC17025認定試験所の検査業務について

2. 事業に関する事項

(1) 令和4年5月25日東京都目黒区ホテル雅叙園東京で開催の第19回定時社員総会で、任期満了に伴う役員改選の結果、次のとおり理事18名、監事4名が選任された。

理 事： 猪 口 由 美（再任）大金 弘 武（新任）大 野 高 志（新任）
川 島 俊 郎（再任）菊 地 令（再任）桑 崎 俊 昭（新任）
塩 島 勉（再任）関 川 和 孝（再任）瀧 澤 太 郎（新任）
竹 内 裕 嗣（新任）竹 田 清（再任）千 葉 尚 登（再任）
根 岸 晴 夫（再任）畑 佳 秀（新任）姫 田 尚（再任）
福 島 保 訓（再任）堀 内 朗 久（再任）松 井 陽 樹（再任）
監 事： 清 田 浩 徳（新任）内 田 達 也（新任）強 谷 雅 彦（新任）
竹 内 淳（新任）

次に役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、専務理事1名、代表監事1名が選任された。

理 事 長： 川 島 俊 郎（再任）
専 務 理 事： 猪 口 由 美（再任）
代 表 監 事： 清 田 浩 徳（新任）（※敬称略）

(2) 令和4年7月8日、役員の変更登記を完了した。

(3) 令和4年7月8日付で大豆ミート食品類 JAS 登録認証機関として農林水産大臣の登録を受けた。

(4) 令和4年7月22日、26日、8月1日の計3回、大豆ミート食品類 JAS 専門講習会をオンラインで開催した。

(5) 令和4年8月30日に厚生労働省関東信越厚生局による登録検査機関の定期監査が行われ、役員に占める受検業者の割合が二分の一を超えていると指摘を受けた。このため2名の役員に辞任していただくことが必要となり、ご相談した結果、松井理事と強谷監事のご理解をいただき、退任の届出が提出された。10月26日付で厚生局に変更届を提出し、受理された。

(6) 令和4年11月1日、2日に、ペリージョンソンラボラトリーアクレディテーションインク (PJLA) によるISO17025の更新審査を受けた。不適合はなく、認定の継続が確認された。

(7) J A S 登録認証機関の4年ごとの更新のため、令和4年11月15日、12月1日に（独法）農林水産消費安全技術センター (FAMIC) による事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。不適合はなく、登録認証機関としての体制が維持、運用されていると判定された。

(8) JRA事業「ジビエ加工品品質評価推進事業」（令和3～4年度）に基づき、ジビエ加工品とその原料肉の理化学分析、物理的性状分析及び官能検査を実施するとともに、推進委員会を令和4年4月、令和5年2月の計2回開催し、報告書を作成した。

- (9) 食品衛生管理者(食肉製品製造業)の登録講習会について、公益財団法人日本食品衛生協会から依頼を受け、7月に食肉製品検査講習(e-ラーニング)及び実習を行った。
- (10) 熟成JASと対応するコーデックスやISOなどの国際規格の差異を明確化することを目的として、国際規格調査(熟成ハム類・熟成ソーセージ類・熟成ベーコン類)委員会(農林水産省食料産業局基準認証室委託事業。実施主体：一般財団法人日本規格協会)が令和4年8月5日及び12月22日に開催され、委員として参加した。
- (11) 前年度に引き続き日本ハム・ソーセージ工業協同組合と業務委託契約を結び、「海外食肉加工品品質評価等事業」(栄養成分、物性検査、官能検査等)を行った。
- (12) (公社)日本食肉協議会の助成を受け「非加熱食肉製品賞味期間延長支援事業」を実施した。
- (13) 検査の適切性を確認したい検査施設を対象に、「精度管理のための技能評価試験」を6月と10月の2回実施した。
- (14) 令和5年3月7日～10日の4日間、東京ビッグサイトで開催された「2023 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS制度、“おいしさ評価”検査、栄養成分検査及び保存試験などの業務を紹介した。
- (15) (一社)日本食肉加工協会及びハム・ソーセージ類公正取引協議会と協力し、食品衛生法、食品表示基準、JAS及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約等についての表示勉強会を令和4年9月29日～30日に開催した。
- (16) 公益財団法人伊藤記念財団の研究助成により、「乾燥熟成牛肉より分離された真菌の生理特性およびその利用に関する研究」を実施した。
- (17) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」に技術協力した。
- (18) (一社)日本食肉加工協会主催の「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」に技術協力した。

3. 社員に関する事項 (令和5年3月31日現在)

期 別	社 員 種 類					
	正社員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
前期末現在	75	2	0	0	2	79
今期入社	4	0	0	0	0	4
今期退社	0	0	0	0	0	0
今期末現在	79	2	0	0	2	83

- (注) 正社員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
 正社員丙：食肉加工を事業とする者
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) JASに関する業務

ア) 令和4年度におけるJAS格付状況

区 分	格付数量	対前年度比
ベーコン類、ハム類、プレスハム及びソーセージ	133,528トン	3.3%減
熟成ハム類、熟成ソーセージ類及び熟成ベーコン類	23,950トン	11.3%減
ハンバーガーパティ	41,797トン	2.7%減
チルドハンバーグステーキ	1,370トン	16.3%減
チルドミートボール	3.8トン	14.9%減

イ) JAS認証工場数(令和5年3月31日現在)

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバー ガー パティ	チルドハンバ ーグ ステーキ	チルドミ ー ト ボ ー ル	合 計
令和3年度末	85*	54*	3	4*	1*	147
認 証	4	2	0	0	0	6
辞 退	10	6	0	0	0	16
令和4年度末	79	50	3	4	1	137

*：外国製造業者1を含む。

ウ) JAS認証工場は、令和4年度定期確認調査においてすべて適正であった。一部の工場については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を延期した。また、当研究所が行うJAS認証工場定期確認調査の現場にFAMICが立ち会う調査は、延べ4工場について実施され、不適合はなかった。

エ) JAS証票を印刷できる登録印刷工場は、ベーコン類等113工場、熟成ハム類等81工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール28工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	令和4.7.15	オンライン講習会	60名
品質管理責任者等専門講習会	令和5.2.2~3	オンライン講習会	53名
格付検査担当者技能研修会	中止		

(2) 一般依頼検査等に関する業務

ア) 令和4年度に実施した一般依頼検査、輸入食品検査の件数は下記の通りであった。

区 分	一般依頼検査		輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査		
件 数	11,223件	11,732件	6,756件	29,721件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

附 属 明 細 書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所